

平成19年度決算の概要について

主要計数

【P/L関連】

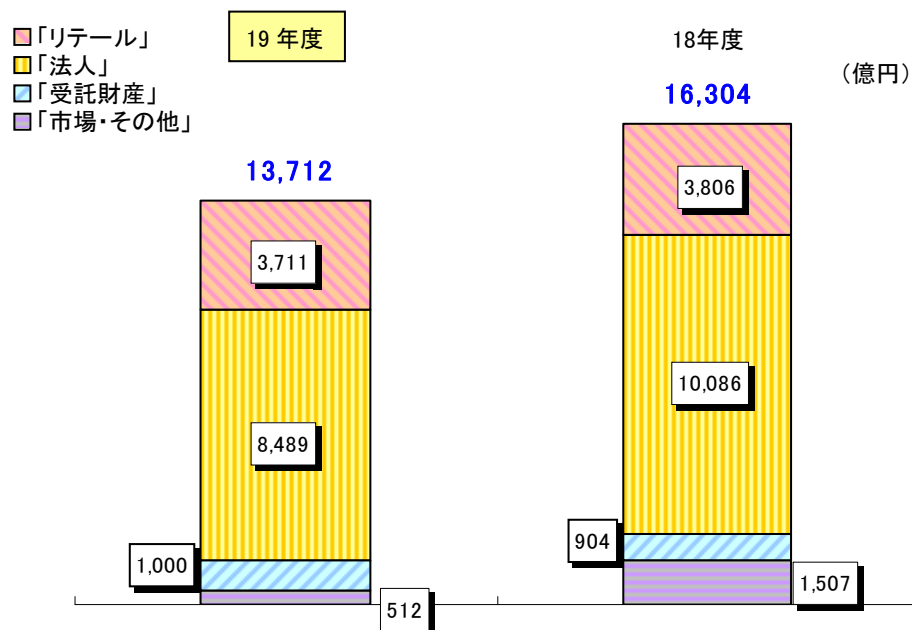
(単位:億円)	19年度	18年度	増減
連結当期純利益	6,366	8,809	△2,443
与信関係費用総額	△3,016	△1,869	△1,146

【B/S関連】

	19年度末	19年中間期末	増減
連結自己資本比率(速報値)	11.19%	12.54%	△1.34%
Tier I 比率	7.60%	7.67%	△0.06%
開示債権比率(銀行単体合算)	1.15%	1.29%	△0.14%

営業純益の状況

「受託財産」部門は、投信関連収益の増加等により、前年度比で増益を確保しました。一方、貸出業務の競争激化や市場環境の変動等により、「リテール」部門、「法人」部門および「市場・その他」は減益となりました。



営業純益…内部取引消去等連結調整前の管理ベースの連結業務純益

平成 19 年度決算の概要について

20 年度業績予想

(億円)	20 年度予想	中間期予想	19 年度実績	中間期実績
連結経常利益	12,100	5,100	10,290	4,975
連結当期純利益	6,400	2,700	6,366	2,567
普通株式配当/株	年間 14 円	中間 7 円	年間 14 円	中間 7 円

グループの態勢整備（最近の動き）

➤ グループ総合力の強化

- 三菱 UFJ 証券の完全子会社化を実施（19 年 9 月）。
- 三菱 UFJ ニコスの第三者割当増資（1,200 億円）の引受及び株式交換による完全子会社化について基本合意（19 年 9 月）。
- カブドットコム証券株式の公開買付けの実施（19 年 11 月～12 月）。
- 三菱 UFJ リースへの直接出資と MUFG 連結ベースでの議決権比率の引き上げ（20 年 2 月）。
- ジャックスへの出資・持分法適用関連会社化（20 年 3 月）。
- JAL カードへの出資、JAL グループおよび JCB との業務提携について合意（20 年 5 月）。

➤ 新システムへの移行開始

- 三菱 UFJ 信託銀行のバンキングシステム統合（20 年 5 月 7 日）。
- 三菱東京 UFJ 銀行の旧東京三菱店舗を対象とした新システム移行（20 年 5 月 12 日）。

以上

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。